

スロウ映画祭シネマ

■前売券600円 当日券800円
全席指定です。整理券はありません。下記上映開始時刻の10分前よりご入場いただけます。

1月25日(土) 窓ぎわのトットちゃん
■2023年、114分、日本 ■監督/八木新之介
■出演/大野りあな、役所広司、小栗旬、杏
■協賛=小池商事株式会社
落ち着かないことを理由に小学校を退学させられ、トモエ学園に通うことになったトットちゃんは、恩師となる小林校長先生と出会い、自由でユニークな校風のもとでのびのびと成長していく。

1月26日(日) フジコ・ヘミングの時間
■2018年、115分、日本 ■監督/小松正一良
■出演/フジコ・ヘミング、大月ウルフ、ナレーション/三浦透子
■協賛=株式会社物語コーポレーション
60代でブレイクしたピアニスト、フジコ・ヘミングの人間性や音楽性、知られざるエピソードに迫るドキュメンタリー。演奏と共に両親とのエピソードや聴力喪失などの苦難、猫との暮らしなどを詳しく紹介。

1月26日(日) 九十歳。何がめでたい
■2024年、99分、日本 ■監督/前田哲
■出演/草笛光子、唐沢寿明、真矢ミキ
■協賛=寿館業株式会社
直木賞作家・佐藤愛子が日々暮らす世の中への怒りや戸惑いを独特のユーモアで綴ったエッセイ集の映画化。90歳を迎えた草笛光子がチャーミングに佐藤愛子を演じ、世の中をバツサリと描く笑いと共感の痛快作。

2月1日(土) カミイのうた
■2024年、135分、日本 ■監督/菅原浩志
■出演/吉田美月香、望月歩、島田歌穂
■協賛=オーギャグループ
アイヌの女性が差別や迫害を受けながらも伝承してきた叙事詩ユーカラを日本語に翻訳しようとする実在のアイヌ文化伝承者・知里幸恵氏をモデルに描く人間ドラマ。上映後には菅原浩志監督の舞台挨拶があります。

2月2日(日) 東京物語
■1953年、135分、日本 ■監督/小津安二郎
■出演/笠智衆、原節子、香川京子
■協賛=株式会社オノコム
日本映画を代表する小津安二郎監督が戦後変わりつつある家族関係をテーマに、老夫婦の姿を通して人間の生と死までも見つけた不朽の名作。当映画祭2度目の上映。

2月15日(土) カラーパープル
■2023年、141分、アメリカ ■監督/ブリック・バザウレ
■出演/ファン・テイジア・バリノ、ハリ・ベイリ、H-E-R
■協賛=スバル東愛知販売株式会社
スティーブ・スピルバーグ監督の名作をミュージカルとしてリメイク。最愛の妹と自由を奪われた主人公の黒人女性が、自由で型破りな女性と出会い「私」が輝ける場所を探して自立し立ち上がる熱い希望の物語。

2月16日(日) ふたりのマエストロ
■2022年、88分、フランス ■監督/リュノ・シッシュ
■出演/イヴァン・アタル、ビエル・アルディ
■協賛=ユタカサービスグループ
ミラノ・スカラ座からの音楽監督就任について、指揮者の父子が最悪の依頼間違いをきっかけに互いの心と向きあう姿を綴ったフランス製人間ドラマ。同国を代表する名優たちが家族の葛藤のドラマを見事に描き出す。

2月22日(土) ガンジスに還る
■2016年、99分、インド ■監督/シュバニ・プティア
■出演/アディル・フセイン、ラリット・ベハ
■協賛=豊橋信用金庫
雄大なガンジス河を背景に、誰にでもいつか訪れる「死」というテーマを、ユーモアと人情味を交えて描く親・子・孫三代の人間ドラマ。上映後にインド映画に詳しい高倉嘉男の解説が付きまします。

1月25日(土) アメリ
■2001年、121分、フランス ■監督/ジャン=ピエール・ジュネ
■出演/オドレイ・トウ、マチュー・カソヴィツ
■協賛=株式会社物語コーポレーション
パリ・モンマルトルに住む空想好きな女性アメリの日常をポップな映像とユーモアで醸し出すロマンチック・コメディ。2001年公開当時社会現象にもなった、観る人が幸せになる大ヒット作。

1月26日(日) 枯れ葉
■2023年、81分、フィンランド ■監督/アキ・カウリスマキ
■出演/アルマ・ポウスティ、ユッシ・パタネン
■協賛=豊橋日独協会
フィンランドのヘルシンキを舞台に、悲痛な現実の中でも愛を信じ生きる喜びと誇りを失わずにいる孤独な男女の日常を、ノスタルジックな風景と多様な音楽で映し出すラブストーリー。

2月1日(土) チョコレートな人々
■2022年、102分、日本 ■監督/鈴木祐司
■出演/夏目浩次、ナレーション/宮本信子
■協賛=ミッドランド社会保険労務士法人
アイデア次第で付加価値が高まる魔法の食料で、失敗しても温めれば作り直すことができるチョコレートと、人生にまつわる甘くてカラフルなドキュメンタリー。地元豊橋市の久遠チョコレートが舞台。

2月2日(日) カラフルな魔女
■2024年、96分、日本 ■監督/宮川麻里奈
■出演/角野栄子、ナレーション/宮崎あおい
■協賛=オーギャグループ
「魔女の宅急便」を書いた児童文学作家、角野栄子に4年間密着したドキュメンタリー。2018年には国際アンデルセン賞作家賞を受賞。「想像力こそ、人間が持つ一番の魔法」と語る彼女のカラフルな日常を描く。

2月2日(日) PERFECT DAYS
■2023年、124分、日本 ■監督/ヴィム・ヴェンダース
■出演/役所広司、三浦友和、柄本時生
■協賛=豊橋倉庫グループ
主人公は東京・渋谷の公衆トイレ清掃員。淡々とした日常に思いがけない出来事が起きる、新鮮で小さな喜びに満ちた映画。世界を穏やかに温かな気持ちで包むBGMが効果的。役所広司がカンヌ映画祭主演男優賞受賞。

2月16日(日) 高野豆腐店の春
■2023年、120分、日本 ■監督/三原光寿
■出演/藤竜也、麻生久美子、中村久美
■協賛=ユタカサービスグループ
広島・尾道を舞台に豆腐店を営む父と娘を巡る人間ドラマ。職人かたぎの父娘の和やかな日常や、彼らを取り巻く商店街の人々と織り成される人間模様、それぞれに訪れる新しい出会いを丁寧に描く。

2月16日(日) ショーシャンクの空に
■1994年、142分、アメリカ ■監督/フランク・ダラボン
■出演/ティム・ロビンズ、モーガン・フリーマン
■協賛=スバル東愛知販売株式会社
長年ショーシャンク刑務所に入っている囚人レッドと無実の罪で収監された元銀行頭取アンディの友情を軸に、アンディが巻き起こす数々の奇跡が描かれる人間ドラマ。映画ファンに愛される名作。

2月22日(土) カラオケ行こ!
■2024年、107分、日本 ■監督/山下敦弘
■出演/綾野剛、菅野美穂、芳根京子
■協賛=豊橋信用金庫
組長主催のカラオケ大会。最下位には恐怖の罰ゲームがそれらから逃れるためにどうしても歌がうまくなりたいヤクザと嫌々ながら彼の歌の指導をすることになる中学校合唱部部長との交流をコミカルに描く青春友情物語。

第23回とよはしまちなかスロウ映画祭

TOYOHASHI SLOWTOWN CINEMA FESTIVAL 2025

オープニングイベント

穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール

1/19日 安藤サクラ シネマ&トーク
■映画「百円の恋」「BAD LANDS パッド・ランズ」
■トーク「安藤サクラin豊橋」
■開場11:40 ■開演12:00 ■終了17:45(予定)
チケット3,500円 全席指定 映画2本+トークショー ■協賛=サーラグループ

ふるさとゲスト シネマ&トーク

穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース

2/1日 元豊橋ふるさと大使 宗田理追悼
豊橋ふるさと大使 菅原浩志監督&宗田律
■映画「はくらの七日間戦争」
■トーク「菅原浩志監督 宗田律トーク」
■開場16:20 ■開演16:30 ■終了19:10(予定)
チケット1,500円 全席指定
■協賛=ヤマサチク株式会社

2/22日 豊橋ふるさと大使 松井玲奈
■映画「よだかの片想い」
■トーク「松井玲奈シネマトーク」
■開場15:50 ■開演16:00 ■終了18:45(予定)
チケット2,000円 全席指定
■協賛=大三コーポレーショングループ

アフターアワーズ

穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース

1/25日 ゲスト 片桐はいり
■映画「もぎりさん」全12話30分 ■トーク「片桐はいりトークin豊橋」
■開場15:50 ■開演16:00 ■終了17:45(予定)
チケット2,000円 全席指定 ■協賛=大三コーポレーショングループ

ライブ&バー

穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース

2/15日 ピーター・バラカンSpecial
■第1部
ピーター・バラカン解説付き上映(上映後)
「ストップ・メイキング・センス 4Kレストア」
■開場14:00 ■開演14:30 ■終了16:25(予定)
チケット1,500円 全席指定
■協賛=本多プラス株式会社
■第2部
ミュージック・バー
「cheers pb」へようこそ vol.9
■開場17:30 ■開演18:30 ■終了20:50(予定)
チケット3,000円 全席指定
■協賛=株式会社トヨテック

シネマ

穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース

前売券600円 全席指定 当日券800円 全席指定

1/25日 窓ぎわのトットちゃん ■協賛=小池商事株式会社
1/26日 フジコ・ヘミングの時間 ■協賛=株式会社物語コーポレーション
2/1日 チョコレートな人々 ■協賛=ミッドランド社会保険労務士法人
2/2日 カラフルな魔女 角野栄子の物語が生まれる暮らし ■協賛=オーギャグループ
2/15日 カラーパープル ■協賛=スバル東愛知販売株式会社
2/16日 高野豆腐店の春 ■協賛=ユタカサービスグループ
2/22日 ガンジスに還る 解説:豊橋在住インド映画研究者 高倉嘉男 ■協賛=豊橋信用金庫
カラオケ行こ! ■協賛=豊橋信用金庫

チケット購入方法

■チケット取り扱い=プラットチケットセンター
○オンライン(24時間受付・要事前登録) <https://toyohashi-at.jp>
○窓口/電話(10:00~19:00 休館日を除く) TEL.0532-39-3090

■チケット発売日(発売初日は10:00より)

オープニングイベント	ふるさとゲストシネマ&トーク アフターアワーズ・ライブ&バー	スロウタウンシネマ
○オンライン-12/7(土)より ○窓口/電話-12/8(日)より	○オンライン-12/14(土)より ○窓口/電話-12/15(日)より	○オンライン-12/21(土)より ○窓口/電話-12/22(日)より

※窓口/電話は混雑が予想されます。また、オンラインで先り切れた場合は、窓口販売及び電話予約はございません。是非オンラインをご活用ください。

詳しくはスロウタウン映画祭WEBサイト、もしくはパンフレット中面をお読みください。諸事情によりゲストにご出演いただけない場合がございます。

■お問合せ=TEL0532-52-9980
とよはしまちなかスロウタウン映画祭実行委員会事務局
<https://www.slowtown.info>
■主催=とよはしまちなかスロウタウン映画祭実行委員会



スロウタウン オープニングイベント

シネマ&トーク
安藤サクラ



1/19日
■開場11:40
■開演12:00
■終了17:45(予定)

穂の国とよはし芸術劇場
PLAT 主ホール

チケット3,500円全席指定
映画2本+トークショー ■協賛=サーラグループ

2024年第47回日本アカデミー賞では最優秀主演女優賞と最優秀助演女優賞のダブル受賞という安藤サクラさんが出演された作品群の存在感は、日本映画界で輝くほど大きく、幅広い演技で多くの観客の心を掴み感動を呼んでいます。女優安藤サクラさんの主演作2本とご本人のトークをお聞きしながら日本映画エンターテインメントの素晴らしさをご堪能いただく新春スペシャル企画。

安藤サクラプロフィール
1986年東京都出身。映画、テレビドラマなどの映像を中心に幅広く活動。多数の名作に出演し高い演技力で日本を代表する女優。日本アカデミー賞では最優秀主演女優賞に3度、最優秀助演女優賞を2度受賞するなど数多くの映画賞を受賞。近年の主な作品に「百円の恋」「0.5ミリ」「かぞくのくに」「怪物」「万引き家族」「ある男」「BAD LANDS」「ゴジラ-1.0」など映画出演は40本以上にのぼる。



スロウタウン アフターアワーズ

1/25日 ± ゲスト
片桐はいり

■映画「もぎりさん」全12話30分
■トーク「片桐はいりトークin豊橋」
■開場15:50 ■開演16:00 ■終了17:45(予定)
穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース

チケット2,000円全席指定
■協賛=大三コーポレーショングループ

片桐はいりプロフィール
1963年東京都出身。俳優。趣味は映画と散歩。1986年「コミック雑誌なんかいらぬい」で映画デビュー。多数の映画に出演し個性あふれる演技で画面をさらう。著書に「わたしのマツカ」「グアテマラの弟」、映画への愛情に満ちたエッセイ「もぎりよ今夜も有難う」は第82回キネマ旬報ベストテン読者賞受賞。



■2018年・2019年全12話30分
■監督/大丸明子、菊池健雄、鈴木太一、瀬田なつき
■出演/片桐はいり、佐津川愛美、川瀬陽太
劇場スタッフと映画ファンの映画館あるあるを、キネカ大森ゆかりの映画人によって映画化されたショートムービー集。映画と映画館と映画好きな人々の素敵な関係を描きつつ、「街の小さな映画館が元気になるように!」と願いを込めた全12話からなるファン必見の作品群。上映後に片桐はいりさんの映画愛トークをお楽しみいただけます。

■トーク「安藤サクラin豊橋」17:00~

「スクリーンで観たい安藤サクラ作品」として主演2作品をセレクトしました。安藤サクラさんがブレイクされ多数の映画賞を受賞した「百円の恋」(2014年)と過去の出演作とは異なる存在感を放つ「BAD LANDS バッド・ランズ」(2023年)を通して、上映作品の魅力や安藤サクラさんの映画に対する想いを語っていただくトークをお楽しみください。



■映画「百円の恋」12:00~
■2014年113分 ■監督/武正晴
■出演/安藤サクラ、新井浩文、根岸季衣
32歳の不器用な女性がボクサーとの出会いから、毎日をサバイブしながら恋愛とボクシングに目覚めていく姿を描く人間ドラマ。実家を出て100円ショップで深夜労働を開始、恋もうまくいかないとこころに吹っ切れて始めたボクシングで人生をやり直そうとする姿を活写。ひたすら殴り、殴られ、転び、立ち上がる安藤サクラ。第39回日本アカデミー賞最優秀主演女優賞・最優秀脚本賞。R15+



■映画「BAD LANDS バッド・ランズ」14:15~
■2023年143分 ■監督/原田眞人
■出演/安藤サクラ、山田涼介、宇崎竜童
直木賞作家・黒川博行の小説「勁草」の映画化。大阪で特殊詐欺に手を染める姉弟。特殊詐欺グループの名簿屋から「日本の根幹を揺るがすビッグビジネス」の話を振られたことを機会に、思いがけず大金を手にした姉弟が巨悪の渦に巻き込まれていくクライム・サスペンス。銀幕の表現者安藤サクラを是非お見逃しなく。

スロウタウン ふるさとゲスト シネマ&トーク

2/1日 ± 元豊橋ふるさと大使
宗田理 追悼

豊橋ふるさと大使 菅原浩志監督&宗田律

■映画「ぼくらの七日間戦争」

■トーク「菅原浩志監督 宗田律トーク」

■開場16:20 ■開演16:30 ■終了19:10(予定)

穂の国とよはし芸術劇場
PLAT アートスペース

チケット1,500円全席指定
■協賛=ヤマサちくわ株式会社



■1988年94分 ■監督/菅原浩志
■出演/宮沢りえ、菊池健一郎、安孫子里香、工藤正貴
作家宗田理原作の映画化。厳しい規律の中学校で自由を求め立ち上がる生徒と、校則で生徒たちを制圧する教師との戦いを描く。主演の宮沢りえは日本アカデミー賞新人賞受賞。主役の生徒たちは一般公募で選ばれた個性派揃い。子どもたちの秘密兵器として本物そっくりの61式戦車にも注目。演出は菅原浩志監督。上映後に菅原監督とご子息の宗田律さんの思い出トークをお楽しみいただけます。

菅原浩志プロフィール
豊橋ふるさと大使・監督・脚本家。1988年「ぼくらの七日間戦争」で監督デビュー。2006年豊橋市制100周年記念映画「早咲きの花」、豊橋市手筒花火プロモーション映画演出や豊橋まつり総合プロデューサーを歴任して豊橋市とは関連が深い。2024年に新作「カムイのうた」公開。

宗田律プロフィール
株式会社宗田事務所 代表。幼少期から高校までを豊橋で過ごす。大学卒業後、出版社勤務などを経て2005年に独立。映画「早咲きの花」のプロモーションに携わった後、出版物の企画・プロデュース業を行う。著作に、「[いい病院]への挑戦 患者のためにできること」(宗田理との共著)がある。

2/22日 ± 豊橋ふるさと大使
松井玲奈

■映画「よだかの片思い」

■トーク「松井玲奈 シネマトーク」

■開場15:50 ■開演16:00 ■終了18:45(予定)

穂の国とよはし芸術劇場
PLAT アートスペース

チケット2,000円全席指定
■協賛=大三コーポレーショングループ



■2021年100分 ■監督/安川有香
■出演/松井玲奈、中島歩、藤井美菜
直木賞作家・島本理生の恋愛小説を映画化。顔のあざにコンプレックスを抱く女性が、恋をきっかけに自身と向き合い、不器用ながらも懸命に生きるヒロインを描く。主人公には役者・小説家・豊橋ふるさと大使の松井玲奈、彼女が思いを寄せる映画監督を中島歩が演じる。上映終了後に松井玲奈さんトークをお楽しみいただけます。

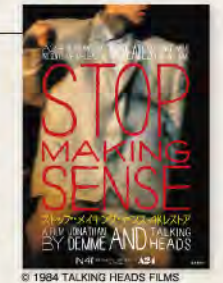


スロウタウン ライブ&バー

2/15日 ± ピーター・バラカンSpecial
穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース

■第1部
ピーター・バラカン解説付き上映(上映後)
「ストップ・メイキング・センス 4Kレストア」
■開場14:00 ■開演14:30 ■終了16:25(予定)
チケット1,500円全席指定
■協賛=本多プラス株式会社

■1984年・89分・アメリカ ■監督/ジョナサン・デミ
■出演/デビッド・バーン、クリス・フランツ、ティナ・ウェイマス、ジェリー・ハリソン
1980年代の音楽に変革をもたらしたアメリカのロックバンド「トーキング・ヘッズ」のライブを記録したドキュメンタリー。キャリア絶頂期の彼らが全米ツアー中の1983年12月にハリウッドのパントリー・シアターライブを収録。上映後にピーター・バラカンさんの解説がつきます。



■第2部
ミュージック・バー
“cheers pb”へようこそ vol.9
■開場17:30 ■開演18:30 ■終了20:50(予定)
チケット3,000円全席指定
■協賛=株式会社トヨテック

わが青春のサウンドトラック 来日編
~1970年代以降来日。思い出に残る楽曲と日本のミュージシャン達との出会い vol.3~
一昨年から始まった「わが青春のサウンドトラック~来日編」。縁あって見知らぬ国日本に降り立ったバラカンさんが出会った日本の音楽シーンやミュージシャン達、著作権の仕事から、YMO事務所の立ち上げに関わり、そしてブロードキャスター、ピーター・バラカンがいかに誕生したか。その当時の思い出を交えて、印象深かった楽曲をハイエンドな音響機材で聴きながら、参加者に追体験していただきます。

